

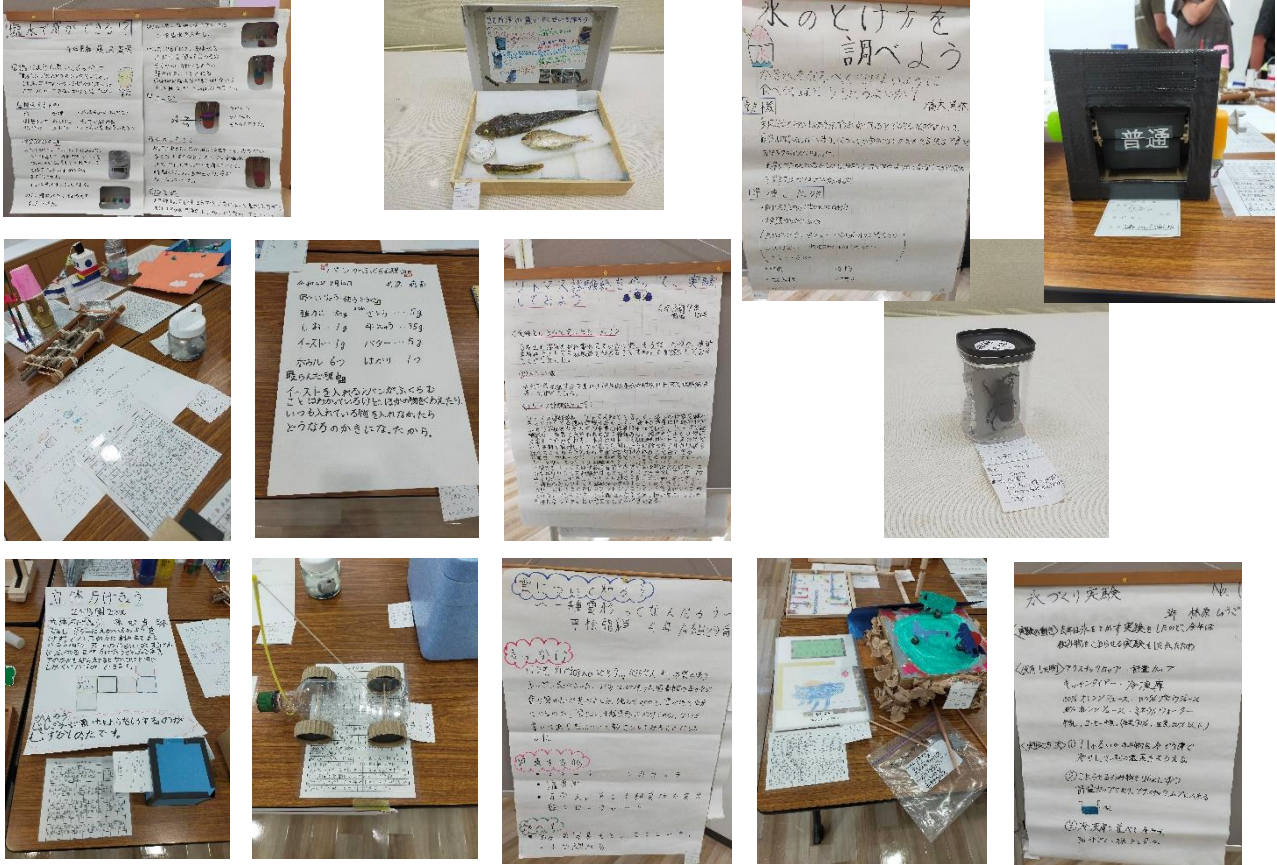
玉南小通信

令和4年9月27日

第11号

夏休みの作品の中から、理科に関するものを出品しました！
どれも工夫がいっぱいの力作です！

☆玉島地区科学作品展(玉島市民交流センター 9/3・4)



☆玉島地区児童生徒科学研究発表会(玉島市民交流センター 9/15)

玉島南小学校代表として堂々と発表しました。

調べようと思ったきっかけ

〇2年 橋本 壮 さん 「氷の溶け方を調べよう」
服の色を工夫して夏を過ごそう！

夏に黒色の服を着て遊んでいるといつもより暑く感じた。涼しく過ごすためには何色の服を着るといいのかな？

〇4年 小野 葵 さん 「DNAの抽出実験」
～食品からDNAを取り出そう～

DNAは私たちが生きていくために必要なあらゆる情報が詰まった「生命の設計図」。身近な食品からDNAを取り出せないかな？

〇6年 岡部 凌加 さん 「たまごの不思議」



ゆで卵の黄身は半熟だったり固めだったり。何分ゆでた時がおいしそうなのか、どのようにゆでられていくのか。温泉卵を家でも作れるらしい。お湯の温度と時間が関係しているのかな？

3人とも、「不思議だな」「どうしてだろう」と思ったことをきっかけに研究を進めていきました。普段から、いろいろなことに興味をもったり、疑問をもったりして、長い夏休みを利用して研究してみるのもいいですね。みなさんもぜひ挑戦してみてください。